

NIHONJINKAI a.s.b.l.

発行：広報委員会

責任者：川口浩司

Avenue des Meuniers 133

1160 Brussels, Belgium

TEL: +32 (0)2-647 38 39

e-mail : jimukyoku@nihonjinkai.be

URL : www.nihonjinkai.be

Bimonthly Bulletin of the Japanese Association

No. 429 September 2026

ONLINE

日本人会会報



総会後の懇親会での景品贈呈の様子

目次

- | | | | |
|----|------------------------------------|----|--|
| 2 | 2026 年度日ベルギー日本人会会長就任挨拶
小笠 昇 | 23 | 告知板 |
| 4 | 2026 年度 日本人会ゴルフコンペ結果報告
日本人会ゴルフ部 | 25 | 今、学校では 会員限定
ブラッセル日本人学校 |
| | 第 33 回 三国（ベルギー/ドイツ/オランダ）対抗 | 30 | 会員異動 会員限定 |
| 5 | テニス大会結果のお知らせ
日本人会テニス部 | 31 | 2025 年度ベルギー日本人会 第 6 回理事会議事録
(2026 年 6 月 19 日 開催) 会員限定 |
| 7 | 日本人会春季テニス大会結果のお知らせ
日本人会テニス部 | 33 | 2025 年度 日本人会定例総会議事録
(2026 年 6 月 19 日 開催) 会員限定 |
| 11 | 白アスパラ掘り・ランチ バスツアー
ベルギー日本人会 | 36 | 編集後記 |
| | 西欧絵画の楽しみ方 115 | | |
| 12 | 「真珠の耳飾りの少女」フェルメール
森 耕治 | | |
| | ベルギーのありふれた生活 24 | | |
| 20 | スペシャル・アフタヌーンティー @ 大使館
藤野 ユミリ | | |

9 月号

2026 年度日ベルギー日本人会会長就任挨拶

ベネルックス住友商事
小笠 昇

今年度ベルギー日本人会会長を務めさせていただきますベネルックス住友商事の小笠です。昨年に引き続きまして担当させていただくことになりました。

引き続き、皆様が心穏やかに、有意義なベルギー生活をお過ごしいただけますよう、また会員各社の事業活動へも一助となるべく、微力ながら力を尽くし参ります。どうぞよろしくお願い致します。

まずは、駐ベルギー日本国大使館、欧州連合日本政府代表部、北大西洋条約機構日本政府代表部の皆様におかれましては、本会および会員へ日頃より格別な御支援をくださり深謝致します。ブラッセル日本人学校及びブラッセル補習授業校の皆様にも、各種会議やイベントで御協力をいただきまして、この場を借りて改めまして篤くお礼を申し上げます。

さて、2026 年は御案内の通り日ベルギー友好 160 周年の年です。多くのイベントが企画・催行されており、同準備委員会へベルギー日本人会も参加させていただき、一部共催も致しております。

4 月にはフォロン財団で隈研吾展が開幕となり、ブリュッセル自由大学での記念講演では 800 席の予約が一瞬で埋まるほどの人気でした。フォロン財団でのレセプションは弊会が共催をしました。大阪でのフォロン展をキュレートされた学芸員からフォロンと日本について御講演をいただき、食事はгентで有名なベルギー人が作るラーメン、ビールはビブグルマン日本人シェフが作るベルgianエールを供する企画でした。

アートやグルメでの日ベルギー交流に思いを巡らせる機会となりました。

6 月には天皇皇后両陛下のベルギー御行幸が実現致しました。国王王妃両陛下と天皇皇后両陛下が仲睦まじく別宮で過ごされたお時間。王宮前を国王陛下と天皇陛下が並んで歩かれたり、ブリュッセル市庁舎バルコニーで天皇皇后両陛下と国王王妃両陛下が仲良く並んでお手振りをする姿を拝見。そして晩餐会ではベルギー王室から御家族全員が初めて御参加され、格式高い State Banquet ながらも温かい雰囲気包まれていました。

皇室とベルギー王室との真の友情を目の当たりに

し、両国の更なる関係深化に会としても資する想いを新たに致しました。

7 月は、Ommegang へ日本がゲスト国として参加しています。レセプションで本格和食と日本酒を提供し、Ommegang の前座パフォーマンスのお時間も頂戴しました。企画準備段階で思いつきましたのは、日本人学校の運動会で拝見した生徒さんが演じたソーラン節です。民謡をベースにした三味線の小気味いいリズムが爽快で、一糸乱れぬ躍動感ある浴衣姿の集団演舞。歴史絵巻の Ommegang にピッタリと思い、提案させていただきました。

果たして公演は大成功で、生徒さんの元気良い掛け声と、観客の歓声がグランプラスを満たしました。一生忘れない思い出を胸にした次世代へ、日ベルギー友好を更に深めていただくバトンを託したいと思います。

8 月にはフラワーカーペットに北斎の富嶽三十六景の中で最も有名な「神奈川沖浪裏」をモチーフにした日本のデザインが採用されました。フラワーカーペットは 2 年に 1 回の開催。2016 年の日ベルギー友好 150 周年でやはり日本の模様が採用されたのち、2018 年メキシコ、2020・2022 年はコロナ禍で休止、2024 年アールヌーヴォーを挟んで、4 回中 2 回が日本テーマという高頻度になりました。ここにも、ベルギーから日本への格別な御高配を感じます。

このように、今年は改めて両国の交流と友情を実感する年となっており、会としまでも両国の更なる関係強化に尽力して参りたいと思います。

末筆となりますが、ベルギー日本人会の益々の盛会と、会員各位の更なる御発展を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。

引き続き一年間、どうぞよろしくお願い致します。



筆者近影：日白友好
160 周年イベントの
キックオフレセプションにて



LECTURE
BY PROF. MAGALI BUGNE (ULB)

AN INTRODUCTION TO NOH

On the occasion of *Kanze Noh Theater's*
performance at Bozar on 26. Sept. 2026



In collaboration with Bozar, the *Kanze Noh Theater* from Tokyo will present a special *Noh* performance celebrating 160 years of friendship between Japan and Belgium.

Noh, one of the world's oldest performing arts and recognized by UNESCO as Intangible Cultural Heritage, combines music, drama, masks, and exquisite costumes.

In this lecture, Prof. Bugne, a specialist in Japanese language, culture, and *Noh*, will introduce the fascinating world of *Noh*.



25 September 2026, 5:30 pm (1hr)
(Doors Open: 5pm)



Japan information & Culture Center
Rue Van maerlant 1 1040 brussels

REGISTER NOW



2026 年度 日本人会ゴルフコンペ結果報告

日本人会ゴルフ部
鍵谷、石川

第 3 回

開催日 6 月 14 日 (日)
 コース Golf de Rigenee
 参加人数 22 人 (女性 1 人、男性 21 人 内初参加 3 人)
 幹事会社 アントワープ連合



順位	氏名 (敬称略)	会社名	OUT	IN	Total	H/C	Net
優勝	山岸 朗	Kaneka Belgium NV	47	44	91	21	70
準優勝	外柙保 良	NYK Bulkship (Atlantic) N.V.	48	42	90	15	75
第 3 位	林 健	Kaneka Belgium NV	48	51	99	24	75
ベストグロス	松井 悠良々	個人	45	44	89	6	76

第 4 回

開催日 7 月 5 日 (日)
 コース Golf de Louvain-la-Neuve
 参加人数 16 人 (女性 1 人、男性 15 人 内初参加 2 人)
 幹事会社 三菱グループ企業



順位	氏名 (敬称略)	会社名	OUT	IN	Total	H/C	Net
優勝	長野 文紀	Aioi Nissay Dowa Insurance Company of Europe S.E. Belgian Branch	51	52	103	33	70
準優勝	井口 礼	Takenaka Europe	43	42	85	14	71
3 位	久保田 淳雄	ASAHI KASEI BIOPROCESS EUROPE S.A./ N.V.	41	39	80	8	72
ベストグロス	久保田 淳雄	ASAHI KASEI BIOPROCESS EUROPE S.A./ N.V.	41	39	80	8	72

人材探しなら

インフィニティ



転職をご検討の方 / 人材をお探しの企業様

✉ info@infi-r.com

🌐 www.INFI-R.com

☎ 02 356 9886

🏠 Chaussée de Vleurgat 119, 1000 Brussels

第 33 回 三国（ベルギー / ドイツ / オランダ）対抗テニス大会結果のお知らせ

日本人会テニス部 2026 年度部長
屋代

去る 6 月 27 日（土）、三国対抗テニス大会がベルギー・アントワープの Blauwe Regen にて開催されました。本大会は、1990 年から続いている伝統ある大会となっており、今回は、我がベルギーの幹事年となりました。男子ダブルス 5 本、女子ダブルス 2 本、計 7 本のチーム対抗戦で、ベルギー、ドイツ、オランダ各代表が試合に臨みました。

結果はドイツの 3 連覇となりましたが、我がベルギーはついに、3 位の定位置を脱出し、2 位に浮上しました。しかも、毎年メンバーを集めることにも苦労しておりましたが、今回はすべて自前でメンバーを揃えることができました。

ベルギーチームも毎週日曜日のコアの練習会をベースに、直前の本大会前には平日も精力的に練習に励んで参りました。今回もドイツ、オランダ両国のレベルは引き続き、どの組み合わせでも高く、どの試合も白熱した試合となりました。今回は、特に男子の試合は、3 セットマッチと、実力が諸に影響する戦いとなり、かつ、猛暑の中での長時間の攻防となりましたので、勝ちを得られたときの瞬間は、当のプレイヤーのみならず、参加しているメンバー一同の喜びもひとしおでした。事務局としても、普段からも仲の良いメンバー達と、大きな声援とハイタッチをしながら、熱い友情を噛み締めることができたことを光栄に思います（生憎、部長である私は直前の怪我のため、事務局に徹しました）。

毎度、真剣勝負でありながら、国を横断して、テニスを通じて交流ができるこの対抗戦はとても貴重な時間です。試合後には、お互いの連絡先を交換しているような様子も見られました。試合後に行った結果発表、懇親会がとても盛り上がったものであったことは想像に難くないと思います。

現メンバーもまた多くが帰任を予定しており、再度、チームを築き上げることは簡単ではありませんが、引き続き、テニス部、下部組織の JoliBois を通じて、チームの活性化を図っていきたいと思います。一緒にプレーをしていただけるメンバーの方も常時大募集しておりますので、是非、お気軽にお声かけください。今後とも日本人会テニス部へのご支援・ご協力を是非お願い申し上げます。

テニス部参加ご興味あるかたは是非ご連絡ください。

【連絡先】 屋代 和彦（テニス部長）

Email : kyashiro@tmhcc.com



《ベルギーチーム出場選手（敬称略）》

男子：西森・宮良（空）、向原・宮良（森）、平井・小田、高田・大津

女子：末満・木下、向原・水口



在庫管理・
製造

財務

マーケティング

人事業務

販売



INFINITYのクラウド

ERPシステム
ひとつですべて実現

🌐 www.infi2.com

✉ sales@infi2.com

☎ 02 644 44 77

無料相談、
実施中！



日本人会春季テニス大会結果のお知らせ

日本人会テニス部 2026 年度幹事
屋代・西森・末松・恒永・平井

去る 5 月 31 日（日）、Wimbledon Tennis Club にて日本人会春季テニス大会を開催しました。合わせて 40 名の方たちにご参加いただき、単身、独身、幅広い世代、今回も普段あまりテニスをされていない方たちも含めて、テニスの楽しさを感じていただく良い一日になったと思います。恒例ではありますが、男女ともに毎試合ペアが異なる形式とし、かつ、レベルも混合となる形としましたので、個人成績を競いつつ、参加者同士がより交流を深められるものとなりました。

多くの各企業、地元のお店、団体様等にご支援をいただき、試合後の表彰式ならびに抽選会も大変盛り上がるものとなりました。テニスをきっかけに、当地での生活についてなど、情報交換する場ともなったかと思えます。今回も春大会をきっかけに、テニス部管轄のサークル（ジョリボア）への参加を希望されるお声もいただきました。今後とも、ベルギーでの生活を充実させる一助になればと思います。

改めて今回も大会での入賞ならびにくじ引きの表彰のために協賛品をご提供いただきました各企業・団体様、大会運営開催のためにお手伝い、ご協力いただきました日本人会関係者の皆様、他全ての関係者の皆様、応援にお越しいただいた皆様に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

11 月頃には、秋季にテニス部での企画を予定しております引き続き多くの方たちにご参加いただき、一緒に汗をかき、日本人同士の交流を深めるきっかけとしていただければ幸いです。また、普段の活動へのご興味、ご関心がある方も遠慮なく、お問い合わせください。

《優勝者（敬称略）》

優勝【男子 A】：小田浩輝

【男子 B、C、女子 A】：末満きらり

【女子 B,C】 東 純子



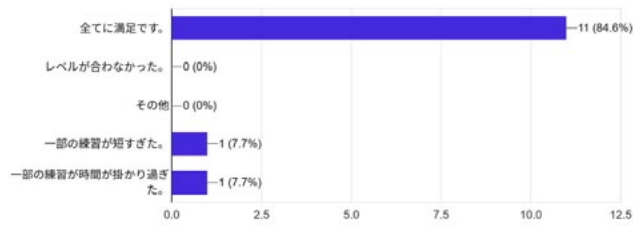
《協賛いただいた各企業・団体様（敬称略・順不同）》

Blueeq, Nitto EMEA NV, Daikin Europe, Enishi, Galler Chocolatier Woluwé, JVCKENWOOD Europe B.V.,
Koike-Ya Inc., Pâtisserie-Chocolaterie Yasushi SASAKI, Ramen NOBU



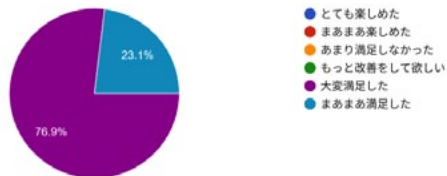
今回の大会で、何か改善の希望はありますか？

13 件の回答



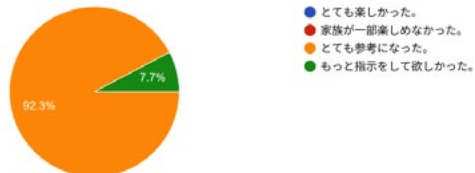
今回の親睦テニス大会を楽しんでいただけましたか？

13 件の回答



懇親会の内容についてお聞きします。

13 件の回答



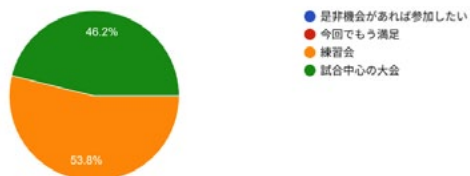
懇親会の内容についてお聞きします。

9 件の回答



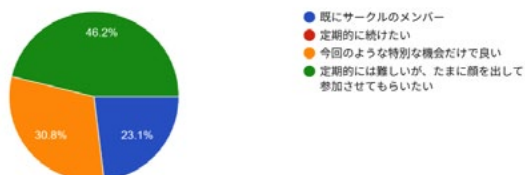
このような形で親睦テニス大会、または練習会を企画した場合、また参加をしたいと思いますか？

13 件の回答

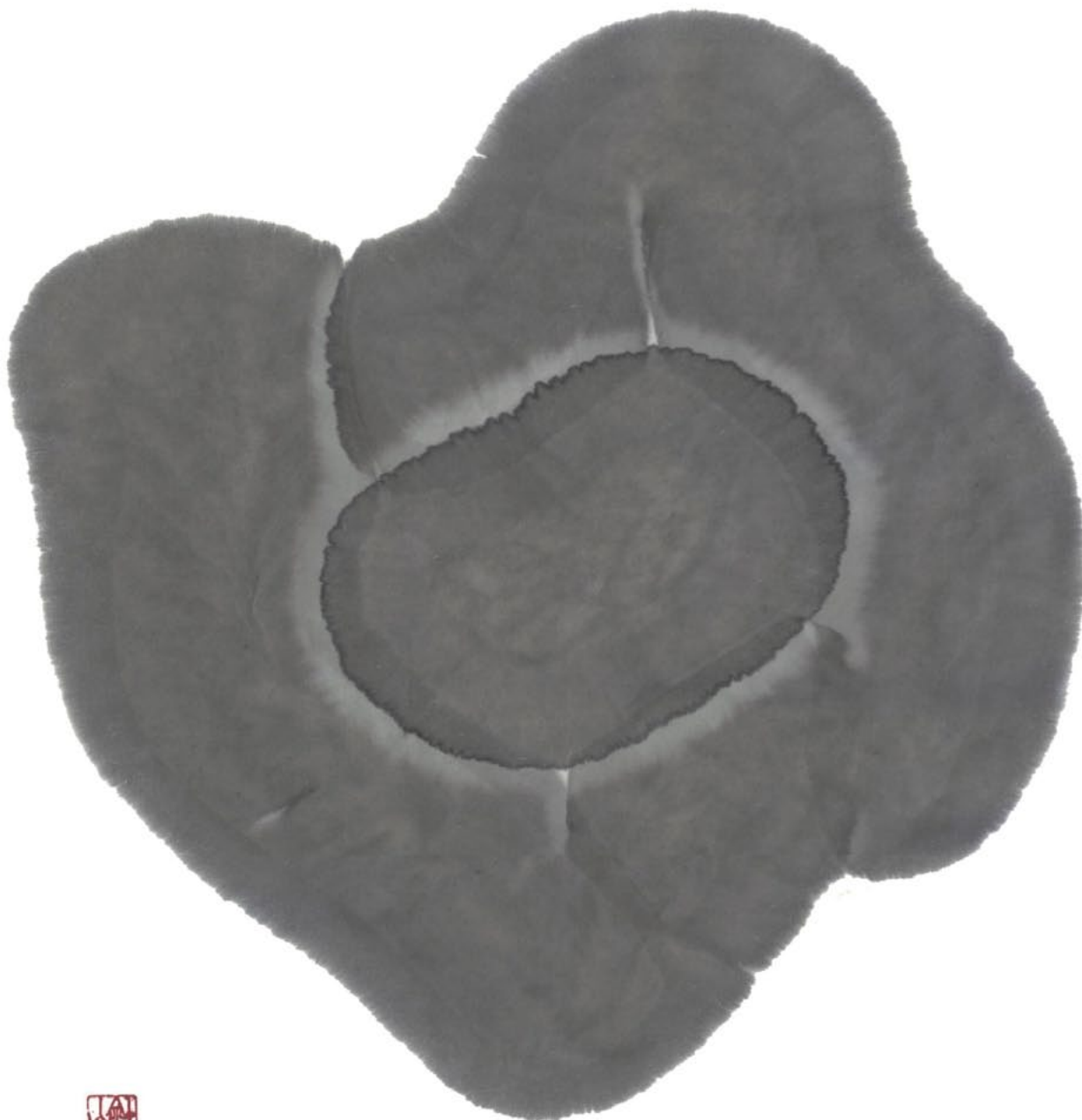


今回の練習会をきっかけに、引き続き、日本人会下...ヨリボア）で定期的にテニスを続けたいですか？

13 件の回答



DAYS -日々- SHINZAN KURIHARA SOLO EXHIBITION



15-25 SEPTEMBER 2026

at JAPAN INFORMATION AND CULTURAL CENTER OF THE EMBASSY OF JAPAN in Belgium
Rue Van Maerlant 1, 1040 Bruxelles

OPENING HOURS / 10:00-12:00 and 13:30-16:00 (Mon.- Fri.)

CLOSED on Saturday, Sunday, 21st (for SEP. 2026)

Opening Reception : 18th SEP. 18pm-19pm (Doors open at 17:30)

Register here ➡

Please make a reservation of the reception to Embassy : FREE ADDMISSION

CONTACT

Tel. / 32-(0)2-513-2340 E-mail / info@bx.mofa.go.jp
http://www.be.emb-japan.go.jp/itprtop_en/index.html



Please contact about art works to Gallery KITAI
<https://kitai.gallery> info@kitai.gallery



在ベルギー日本国大使館

EMBASSY OF JAPAN
IN BELGIUM

Registration: Reception of the
Exhibition: DAYS (18 September
2026)



白アスパラ掘り・ランチ バスツアー

ベルギー日本人会
小笠 昇



6月7日日曜日、オランダに少しだけ越境し、白アスパラ農園に出かけて参りました。

猛暑が心配されましたが、曇り空の下、少し涼しいぐらいのちょうど良い気候での訪問となりました。

58名の参加者はオーナーのギルバートさんに迎えられ、その後2組に分かれて、白アスパラの加工場見学と収穫体験を交互にしました。



加工場ではアスパラの自動選別機や皮むき機の説明を受け、立派な「産業」であることを勉強。一瞬で皮をむく機械では、アスパラの投入を子供たちに経験させてもらい、親の皆さんはお写真を撮りながら「便利ね～」と羨ましがる姿が面白かったです。

続いて畑に赴き、収穫体験です。

アスパラはいわゆる多年草や宿根草と言われる、根から毎年芽を出す植物で、土を高く盛って、日光に当たらずに成長させることで白いアスパラガスが出来上がります。

盛り土の上に頭が出てきた白アスパラを見つけ、先に刃がついている金属の棒を横に差し込んで、出来るだけ下の方を切り取って収穫します。



これがナカナカ難しく、しかし皆さん楽しみながら収穫体験をしていただきました。



畑で自家製ワインを出してくれるというお洒落なおもてなしの後、農園のレストランで白アスパラ尽くしのランチを全員で頂戴しました。

白アスパラのスープに、メインは太った白アスパラをシンプルに茹でた定番の一皿。獲れたての香りと旨味が凄く、北部西欧の名物の「旬」を存分に味わいました。

今後も、「当地ならではの」イベントを企画してまいりますので、どうぞお楽しみに！



西欧絵画の楽しみ方 109

「真珠の耳飾りの少女」 フェルメール

美術史家
森 耕治



「真珠の耳飾りの少女」、1664-1667 年
フェルメール、マウリッツハイス美術館

これは皆さんもよくご存じの、フェルメールの代表作「真珠の耳飾りの少女」です。別名「青いターバンの少女」とも呼ばれ、デン・ハーグのマウリッツハイス美術館を象徴する一枚として、世界中の人々に親しまれています。

しかし、これほど有名な作品でありながら、描かれた少女が誰なのかは、現在も分かっていません。フェルメールの長女マリアを描いたという説や、フェルメール家で働いていた召使をモデルにしたという説、あるいは実在の人物ではなく画家が創作した理想像だという説まで、さまざまな見解があります。

また、少女は真珠の耳飾り以外には質素な服装をしている一方で、当時の日常生活ではまず身につけることのない青いターバンを頭に巻いています。そのため、多くの美術史家は、この作品を 17 世紀オランダ絵画に見られる「トロニー (tronie)」、すなわち特定の人物を描いた肖像画ではなく、異国風の衣装や人物表現を目的とした作品として説明して

きました。

確かに、この作品をトロニーと呼ぶことは、美術史上の分類としては誤りではありません。しかし、それは作品の形式を説明しているにすぎず、その本質を説明したことにはなりません。フェルメールは、なぜ少女に異国風のターバンを巻かせ、このような表情で私たちを振り向かせたのでしょうか。そして、その視線の先には何があるのでしょうか。

私は、この作品を第二次英蘭戦争という激動の時代の中で読み直す必要があると考えています。その歴史的背景とフェルメールを取り巻く宗教的・思想的環境を重ね合わせるとき、この少女は単なるモデルではなく、戦争の行方を神託するデルフォイの巫女を暗示した存在として浮かび上がってきます。本稿では、その可能性を、17 世紀オランダの歴史と宗教、さらに当時の寓意表現を手がかりに検証していきたいと思います。

画面概説

画面には、青と黄色のターバンを頭に巻いた若い少女が、肩越しに静かにこちらを振り返る姿が描かれています。その姿は、日本人であれば、菱川師宣の代表作「見返り美人図」を思い浮かべるかもしれませんが、もちろん両者に直接の関係はありませんが、背中を見せた人物が肩越しに振り返るという構図は、それほど印象的なものです。

しかし、このような構図は 17 世紀オランダ絵画ではきわめて珍しい表現でした。当時の肖像画では、人物は正面を向くか、あるいは鑑賞者に対して約 30 度ほど身体を傾けた姿勢で描かれるのが一般的だったからです。少女は唇をわずかに開き、大きな瞳で鑑賞者を見つめています。その表情には特定の感情は表されておらず、見る者によってさまざまな印象を抱かせます。

ここで一つの疑問が生じます。フェルメールは「中断された音楽の稽古」などで、部屋へ入ってきた人物に女性が振り向く場面を描いています。しかし、この作品には少女以外に人物は存在しません。にもかかわらず、彼はなぜ、あえて「振り返る」という構図を選んだのでしょうか。このことは、本作品を

読み解く上で最初に考えるべき重要な問題の一つです。

少女の衣装は極めて簡素で、青と黄色のターバン、黄褐色の上着、そして作品名の由来となった大きな耳飾り以外に目立った装飾はありません。左上から差し込む柔らかな光は、額や頬、唇、肩、そして耳飾りを照らし出し、フェルメール特有の繊細な明暗表現によって、少女の姿を背景から鮮やかに浮かび上がらせています。

近年の科学調査は、この青いターバンについても新たな事実を明らかにしました。2018 年の「The Girl in the Spotlight」プロジェクトでは、マルチスケール光コヒーレンストモグラフィ（MS-OCT）によって、ターバンに施された透明な絵具の層（グレース）まで非破壊で調査されました。

その結果、フェルメールは天然ウルトラマリン（ラピスラズリ）の透明な絵具の層を重ねることによって、光の当たる部分から陰へ移り変わる繊細な色彩の変化を表現していたことが確認されました。

ラピスラズリは、17 世紀当時、アフガニスタン産の貴石を砕いて精製した最高級の青色顔料で、「金よりも高価」とさえ言われました。化学的には硫黄を含む複雑なケイ酸塩鉱物であり、19 世紀前半になって安価な人工顔料が開発されると、それは「ウルトラマリン」と呼ばれるようになりました。

さらに詳しく見ると、ターバンには三種類の明度の異なる青が巧みに使い分けられています。フェルメールは、同じラピスラズリに鉛白（シルバーホワイト）を混ぜる割合を変えることによって、光の当たる部分から陰へ至る繊細な階調を生み出していました。そして、その上に透明なラピスラズリの層を重ねることで、宝石のような深く澄んだ青を実現していたのです。

ラピスラズリは当時最も高価な顔料の一つであ

り、「金よりも高い」とも言われていました。現在の価格に換算して、仮に金とほぼ同じ値段 1 グラム 2 万円で、この絵に 20 グラムのラピスラズリが使用されたとすると、ターバンの箇所だけで少なくとも 40 万円の費用がかかったことになります。

このような顔料を惜しみなく用いたことは、フェルメールがこの作品を単なる習作やトロニー以上の存在として構想していた可能性を示唆しています。

また、少女が身につける簡素な黄色い上着は、高価なラピスラズリで描かれた青いターバンをいっそう際立たせる役割を果たしています。フェルメールは、衣装全体の華やかさを追求するのではなく、画面の色彩構成を巧みに計画することによって、鑑賞者の視線を少女の顔と青いターバンへと導いています。

しかし、近年最も注目すべき発見は、背景の色彩でした。1994 年の修復時の調査と、前述の「The Girl in the Spotlight」プロジェクトの分析によって、背景は現在のような黒一色ではなかったことが明らかになったのです（1）。

フェルメールは、黒褐色の下塗りの上に、インディゴ（天然の青色染料）とウェルド（モクセイソウから採れる黄色の植物性染料）から成る透明なグレースを重ねることによって、黒にも見えるほど深みのある緑色を作り出していたのです。

ところが、長い年月の間に光や湿気の影響でインディゴとウェルドが退色したため、その緑色は失われ、現在では背景全体が黒一色のように見えます。このことは、「真珠の耳飾りの少女」が単純に黒い背景の前へ人物を配置した作品ではないことを示しています。フェルメールは、光と色彩、そして透明な絵具の層を巧みに組み合わせることによって、少女が深い闇の中から静かに姿を現すかのような、神

グローバルネットワークでお客様の 引越 / 輸送ビジネスをサポート

- ・日本人立会い
- ・ハウスクリーニング
- ・不用品回収
- ・お譲り品のお届け



N X ベルギー株式会社(旧：ベルギー日本通運)
NIPPON EXPRESS (BELGIUM) N.V./S.A.

TEL : +32 (0)2-751-7814/15

NEBE-removal@nipponexpress.com

<https://www.nipponexpress.com/moving/be/>

秘的な空間を計画的に創り出していたのです。

さらに注目すべきことは、フェルメールの現存作品の中で、このような深みのある緑色の背景が確認される例は、少なくとも他には知られていないという点です。

なぜフェルメールは、この作品にだけ、「見返り美人」という特異な構図を用い、深い緑色の背景、そしてラピスラズリをふんだんに用いた贅沢な色彩表現を行ったのでしょうか。

この問いは、この絵を単なるトロニー、もしくは召使いの肖像として理解するだけでは説明できない、新たな問題を提起しています。

ミケランジェロ「デルフォイのシビュラ」との類似性

ここまで見てきたように、「真珠の耳飾りの少女」には、17 世紀オランダ絵画としては異例とも言える特徴がいくつも認められます。

少女は、肩越しに振り返る「見返り美人」のような姿勢をとり、青と黄色のターバンを身に着けています。しかも、その青には、当時「金よりも高い」とまで言われた天然ウルトラマリン(ラピスラズリ)が惜しみなく用いられていました。さらに近年の科学調査によって、背景は現在の黒ではなく、本来は深い緑色であったことまで明らかになっています。ここで私は、一つの素朴な疑問を抱きました。いったい誰が、たとえ若く美しいメイドであったとしても、その肖像を描くためだけに、これほど高価な顔料を用いた小さな絵を注文するのでしょうか。

もし美しい少女の肖像を望むのであれば、高価なドレスを着せ、宝石を身に付けさせ、当時の肖像画の慣例どおり、正面あるいは三〇度ほど身体を傾けた姿勢で描かせたはずです。

さらに、ラピスラズリの使用も見逃せません。当時、この顔料はあまりにも高価であったため、実際には聖母や聖人など、特別な宗教画に用いられることがほとんどでした。フェルメールの作品でも、その代表例が「牛乳を注ぐ女」です。

一見すると台所で働く料理女を描いた風俗画ですが、私はこの作品を聖母マリアの寓意として解釈しています。だからこそ、最高級の青色顔料を用いることができたと考えられます。



「デルポイのシビュラ」、ミケランジェロ、1512

そこで私は、フェルメール以前の巨匠たちの作品の中に、「真珠の耳飾りの少女」と共通する構図や発想を持つ聖なる女性像が存在しないかを調べてみました。

その結果、私が注目したのが、ミケランジェロがシスティーナ礼拝堂天井画に描いた「デルフォイのシビュラ」です。

シビュラとは、古代ギリシャ・ローマ世界で神託を伝えた巫女のことです。デルフォイは、ギリシア中部パルナッソス山の麓にあったアポロン神殿の所在地であり、そこに仕えた巫女の神託は、国家の命運を左右する神意として尊重されていました。

古代ギリシアの歴史家ヘロドトスの「歴史」によれば、紀元前 5 世紀、強大なペルシャ帝国の侵攻を目前にしたアテネは、デルフォイの神託を求めました。巫女は、「ゼウスはアテネにただ一つ「木の壁」だけを残す」と告げました。

しかし、この「木の壁」が何を意味するのかについては、人々の間で意見が分かれました。これに対し、政治家テミストクレスは、この神託を「木造の艦船」を意味するものと解釈し、すでに整備されていた三段櫓船(トリレーム)を用いて海上で決戦する方針を主張しました。

その結果、この戦略が採用され、紀元前 480 年、ギリシア連合艦隊はサラミス海戦でペルシャ海軍を撃破し、ギリシアは滅亡の危機を免れたのです。

ここでミケランジェロの「デルフォイのシビュラ」に注目してみましょう。シビュラは石の玉座に腰を下ろし、身体を斜めに向けたまま、上半身と首を大きくひねって背後を振り返っています。その視線は

鑑賞者を正面から見つめるというより、画面の外に向けられており、まるで神からの啓示を受けた瞬間であるかのような緊張感を漂わせています。大きく見開かれた瞳と、わずかに開いた唇は、神託を授かる一瞬の驚きと精神の集中を感じさせます。

また、シビュラは左手に巻物をしっかりと握り、その背後では二人の童子がその巻物に関わっています。巻物は、彼女が未来を予言する巫女であることを示す重要な属性であり、神から授けられた言葉を記し、伝える存在であることを象徴しています。

衣装にも注目すべき特徴があります。シビュラは頭を青い布で覆い、その上から青いマントを肩へまっています。さらに淡い緑色の衣服の上に橙色の大きな衣を重ね、青・緑・橙という鮮やかな色彩の対比によって、画面の中でひととき強い存在感を放っています。

この身体を斜めに向けながら顔だけを振り返る構図は、17 世紀オランダ絵画では極めて珍しい「真珠の耳飾りの少女」を思い起こさせます。

フェルメールの少女もまた、身体は画面の奥へ向けながら、頭部だけをこちらへ返し、一瞬の動きを切り取ったような姿勢を見せています。

両者は細部まで一致するわけではありませんが、身体と顔の向きを意図的にずらした「振り返り」の構図という点で、注目すべき図像的共通性を備えているといえるでしょう。

さらに、両者に共通する青い頭巾も見過すことはできません。もちろん、ミケランジェロのフレスコ画とフェルメールの油彩では技法も顔料も異なり、その青を直接比較することはできません。



「デルポイのシビュラ」、
ミケランジェロ、1512
頭部の拡大図

しかし、頭部を青い布で覆った神聖な女性という図像は、「真珠の耳飾りの少女」との間に看過できない共通性を感じさせます。

もちろん、このような構図の近似性だけで、「真珠の耳飾りの少女」をデルフォイのシビュラと断定することはできません。しかし、フェルメールは、そのシビュラを思わせる構図に、当時最も高価なラピスラズリを惜しみなく用いました。

私は、このことが単なる色彩の美しさを追求しただけではなく、少女に神聖で象徴的な意味を与えるための意図的な選択だった可能性を示しているのではないかと考えています。

では、フェルメールは、どのようにしてバチカン システィーナ礼拝堂に描かれたミケランジェロの作品を知り得たのでしょうか。

その疑問に答えてくれるのが、16 世紀イタリアの版画家 ジョルジョ・キージです。彼は、ミケランジェロの「デルフォイのシビュラ」を 1540 年代に銅版画化しました。また「最後の審判」などシスティーナ礼拝堂の壁画・天井画を精密な銅版画として制作し、イタリア・ルネサンス美術をヨーロッパ各地へ普及させた版画家として知られています。



ジョルジュ・キージの版画

そして 1551 年には、まだ南北ネーデルラントが統一されていたアントウェルペンに滞在し、著名な版画出版者ヒエロニムス・コックと共同で数多くの版画を出版しています。コックは、ボスやブリュゲルの作品を版画としてヨーロッパ中に広めたことで知られる人物です。

私は、このアントウェルペン時代に「デルフォイのシビュラ」の版画も出版され、それがネーデルラントへ流通し、フェルメールに少なからぬ着想を与えた可能性があります。

なぜデルフォイのシビュラだったのか

では、フェルメールは、なぜ数あるシビュラの中でも、デルフォイのシビュラを想起させる図像を選んだのでしょうか。

前章で述べたように、デルフォイのシビュラは、古代ギリシアを国家存亡の危機から救ったサラミス海戦の勝利と結び付けられた巫女として、西洋世界で特別な存在となりました。

私は、そのことと、「真珠の耳飾りの少女」が制作された 1665 年前後の歴史的背景との間には、見過ごすことのできない共通点があると考えています。

この作品は、現在では 1664～1667 年頃の制作と考えられています。つまり、第二次英蘭戦争の勃発から終結に至る、まさにオランダ共和国の命運が問われた時期に描かれたことになります。しかし、戦争の火種はすでに前年から燃え広がっていました。1664 年 9 月には、オランダが北アメリカに築いた植民地ニュー・アムステルダムがイギリス軍に占領され、ニュー・ヨークと改称されます。さらに正式な宣戦布告以前から、イギリス武装船によるオランダ商船の拿捕が相次ぎ、両国は事実上の戦争状態に入っていました。

そして 1665 年 3 月 4 日、イングランドは正式にオランダ共和国へ宣戦を布告します。同年 6 月にはローストフト沖海戦でオランダ艦隊は大敗を喫し、多くの艦艇と兵士を失いました。開戦直後のこの敗北は、海上貿易によって繁栄していた共和国に大きな衝撃を与え、国家の将来に対する不安を一気に高めたことでしょう。

フェルメールが暮らしたデルフトも、この危機とは無縁ではありませんでした。デルフトは東インド会社（VOC）の支店が置かれた商業都市であり、その繁栄は海上貿易によって支えられていました。もしイングランドに制海権を奪われれば、デルフトの経済は深刻な打撃を受けます。また、多くの若者が海軍へ従軍し、フェルメールの友人や知人の中にも戦場へ赴いた人々がいたとしても不思議ではありません。

しかし、その翌年の 1666 年 6 月、北海で四日間 にわたって繰り広げられた大海戦において、ミヒール・デ・ロイテル率いるオランダ艦隊はイングランド海軍に大きな打撃を与え、戦局を一変させました。この勝利は共和国の士気を大いに高め、最終的には

1667 年 7 月 31 日に締結されたブレダ条約によって講和が成立します。その結果、オランダはニュー・アムステルダムを失った一方で、スリナム植民地を確保し、さらにバンダ諸島のラン島を保持することによって、ナツメグ貿易における優位を維持することに成功しました。

第二次英蘭戦争は、単なる海軍同士の戦いではありませんでした。それは海外植民地、海上貿易、そして共和国そのものの存続を懸けた総力戦だったのです。

このような歴史的背景を考えると、古代ギリシアを勝利へ導いたデルフォイのシビュラは、17 世紀オランダの人々にとっても、祖国の勝利と平和を願う象徴として受け止められた可能性があります。もちろん、フェルメールがそのような意図を抱いていたことを直接示す史料は存在しません。しかし、「真珠の耳飾りの少女」が制作された時代背景と、振り返る構図、青いターバン、最高級のラピスラズリ、そしてミケランジェロ「デルフォイのシビュラ」との図像的共通性を総合的に考えるならば、この作品に祖国の海戦勝利への願いが託されていたと考えることは、十分検討に値するのではないのでしょうか。結果として、オランダ共和国は四日間海戦で戦局を覆し、祖国は滅亡の危機を免れました。この歴史的経過は、フェルメールが「真珠の耳飾りの少女」に託した願いを考える上で、極めて示唆的であると言えるでしょう。

顔に使われたスフマート画法

「真珠の耳飾りの少女」が世界中の人々を魅了し続ける理由の一つは、その透き通るような肌の表現にあります。柔らかな頬、わずかに潤んだ唇、そして光を受けた鼻筋には、まるで少女が静かに息づいているかのような生命感が宿っています。

前述のマウリッツハイス美術館の科学調査では、顔料の元素分布も詳細に分析されました。その結果、顔の暗部には鉛が多く検出され、さらに明部にも鉛が広く分布していることが明らかになっています。

この鉛は、17 世紀の画家たちが最も重要な白色



顔料として用いた塩基性炭酸鉛（鉛白）に由来するものです。とりわけ注目すべきなのは、鉛が顔の明るい部分全体を覆うように広く分布していることです。このことは、フェルメールが鉛白を極めて薄く塗り重ねることによって、透明感のある肌を表現しようとしたことを示唆しています。

このような表現技法は、レオナルド・ダ・ヴィンチが《モナ・リザ》で完成させたことで知られるスフマート画法を想起させます。スフマート画法では、鉛白を主体とする絵具に、ごく少量のバミリオン（辰砂、硫化水銀 HgS ）などの赤色顔料を加えた半透明の絵具を何層にもわたって薄く塗り重ねることによって、輪郭線を消し去り、柔らかく透き通るような肌を生み出します。こうして光が絵具の層を透過・反射することで、人物の肌には内側から発光するような生命感が与えられるのです。

もちろん、フェルメールがダ・ヴィンチと全く同じ制作工程を採用したと断定することはできません。しかし、元素分析によって明らかになった鉛白の広範な分布から判断するならば、《真珠の耳飾りの少女》の肌には、《モナ・リザ》のスフマート画法に極めて近い発想と技法が用いられていた可能性は十分に考えられます。

その結果、この少女の顔からは明確な輪郭線が消え、現実の人物でありながら、どこか現実を超えた神秘的な存在感が生み出されています。すでに述べたように、この少女がデルフォイの巫女を暗示する存在であるとすれば、この柔らかな肌の表現は単なる写実技法ではありません。フェルメールは、スフマートに近い高度な技法を駆使することによって、人間でありながら神託を受ける存在としての静かな気高さと神秘性を、この一枚の肖像画の中に見事に表現したのではないのでしょうか。

真珠の耳飾りは本物だったのか

この作品を語るうえで、忘れてはならないのが、画面の主角ともいえる大きな真珠の耳飾りです。一般には、この作品は「真珠の耳飾りの少女」という題名で親しまれているため、多くの人は当然、本物の巨大な真珠が描かれているものと思っています。

しかし、この耳飾りについても、いくつかの興味深い問題があります。

まず第一に、その大きさです。天然真珠として考えるなら、この耳飾りはあまりにも大きく、しかも左右対称に近い美しい形をしています。もちろん、フェルメールが実物よりも誇張して描いた可能性を完全に否定することはできません。しかし、17世紀ヨーロッパでは、必ずしも本物の真珠だけが流通していたわけではありません。

1600 年頃、フランスでは魚の鱗から採取した真珠光沢成分、いわゆるパール・エッセンスを中空のガラス玉の内側に塗布することで、美しい模造真

珠を製造する技術が開発されました。この模造真珠はヨーロッパ各地へ輸出され、装身具として広く用いられるようになります。そのため、《真珠の耳飾りの少女》の耳飾りも、本物ではなく模造真珠であった可能性は十分に考えられます。

ところが、この耳飾りには、さらに大きな謎があります。耳飾りの拡大写真を見ると、その表面には窓から差し込む光だけではなく、人影のようなものが映り込んでいるようにも見えます。私は以前、この姿は窓辺に立つフェルメール自身ではないかと考えていました。

しかし、マウリッツハイス美術館による近年の科学調査では、この耳飾りについて興味深い見解が示されました。同館によれば、巨大な真珠は実体感のある物体として精密に描かれたものではなく、透明および不透明の白色絵具を巧みに置くことによって生み出された「視覚的な錯覚 (illusion)」であり、通常なら描かれるはずの耳に吊るす金具も省略されています。フェルメールは最小限の筆触だけで、見る者に大きな真珠が存在するかのような印象を与える高度な絵画技法を用いていたのです (2)。

実際、公開された高精細画像を注意深く観察すると、首の茶褐色の陰影の上に白い痕跡が認められる一方で、耳飾りを吊り下げる金具や輪郭線は極めて曖昧です。



まとめ

以上見てきたように、「真珠の耳飾りの少女」は、従来説明されてきたような単なるトロニー、あるいは若い女性の肖像として理解するだけでは、その本質を十分に説明することはできません。

少女が肩越しに振り返るという、17 世紀オランダ絵画では極めて珍しい構図、ミケランジェロの「デルフォイのシビュラ」との図像的共通性、「金よりも高い」とまで言われたラピスラズリの大胆な使用、本来は深い緑色であった背景、さらに輪郭を柔らかくぼかした透明感のある肌の表現は、いずれもフェルメールがこの作品を特別な意図のもとに構想した可能性を示しています。

とりわけ重要なのは、この作品が第二次英蘭戦争の勃発から終結に至る 1664～1667 年頃に制作されたと考えられている点です。この戦争は、単なる海軍同士の衝突ではありませんでした。海外植民地、海上貿易、そしてオランダ共和国そのものの存続を懸けた戦いだったのです。

フェルメールが暮らしたデルフトには東インド会社（VOC）の支店が置かれ、その繁栄は海上貿易によって支えられていました。イングランドに制海権を奪われれば、デルフトの経済も深刻な打撃を受けます。また、多くの人々が海軍や海外貿易に関わっていた当時、戦争の行方は、フェルメールを含む市民一人ひとりにとって極めて切実な問題であったはずです。

このような歴史的背景の中で、古代ギリシアをサラミス海戦の勝利へ導いた神託と結び付けられるデルフォイのシビュラは、祖国の勝利と平和への願いを託すにふさわしい象徴であったと考えられます。私は、フェルメールがミケランジェロのシビュラを想起させる振り返りの構図と青い頭巾を少女に与えることによって、海戦の勝利を予告し、祖国を守る巫女の姿を暗示したのではないかと考えています。その後、1666 年の四日間海戦において、ミヒール・デ・ロイテル率いるオランダ艦隊はイングランド海軍に大きな打撃を与え、戦局を覆しました。もちろん、この歴史的経過がフェルメールの制作意図を直接証明するものではありません。しかし、作品の制作年代、図像、色彩、技法、そして当時の社会状況を重ね合わせるならば、「真珠の耳飾りの少女」に祖国の勝利と平和への願いが込められていた可能性は、十分に検討に値するでしょう。

一方、作品名の由来となった耳飾りについて、マウリッツハイス美術館は、それが精密な輪郭によって描かれた宝石ではなく、透明および不透明の白色絵具を最小限に置くことで生み出された「視覚的な錯覚」であると説明しています。また、耳から吊り下げる金具も描かれていません。したがって、この耳飾りが天然真珠であったのか、模造真珠であったのかを、画面から確定することはできません。重要なのは、フェルメールが白い光の筆触だけで、見る者に大きな真珠が存在するかのような印象を成立させたという事実です。

「真珠の耳飾りの少女」という題名は、この作品の魅力を象徴する名称として広く定着しています。しかし、その耳飾りだけに目を奪われるならば、振り返る姿勢、青いターバン、深い緑色の背景、神秘的な表情、そして制作当時の戦争という、作品を読み解くための重要な要素を見失うことになります。

この少女は、単に美しい耳飾りを身に着けた無名の女性ではありません。暗い背景の中から振り返り、遠くから届く神意に耳を澄ますかのようなその姿には、祖国の命運を見つめる巫女の静かな緊張が宿っています。

私は、この作品を、フェルメールが第二次英蘭戦争の時代に描いた「デルフォイの巫女」、すなわち祖国の海戦勝利と平和への願いを託した寓意画として評価したいと思います。

註

1. From 'Vermeer Illuminated to 'The Girl in the Spotlight': approaches and methodologies for the scientific (re-) examination of Vermeer's Girl with a Pearl Earring
29.08.2019

2. マウリッツハイス美術館公式サイト。Closer to Vermeer and the Girl

The pearl is an illusion – translucent and opaque touches of white paint – and the hook to hang the 'pearl' from her ear is missing.

柳家三三



Yanagiya Sanza

落語公演

柳亭三美



Ryutei Komichi

RAKUGO PERFORMANCE



Japanese traditional storytelling



3 September 2026

Doors open 17:45
Performance: 18:15



**Japan Information
Cultural Centre**

Rue Van Maerlant 1
1040 Brussels



Register Now



スペシャル・アフタヌーンティー @ 大使館

日本ベルギー 160 年目の友好③

ベルギーのありふれた日常 24

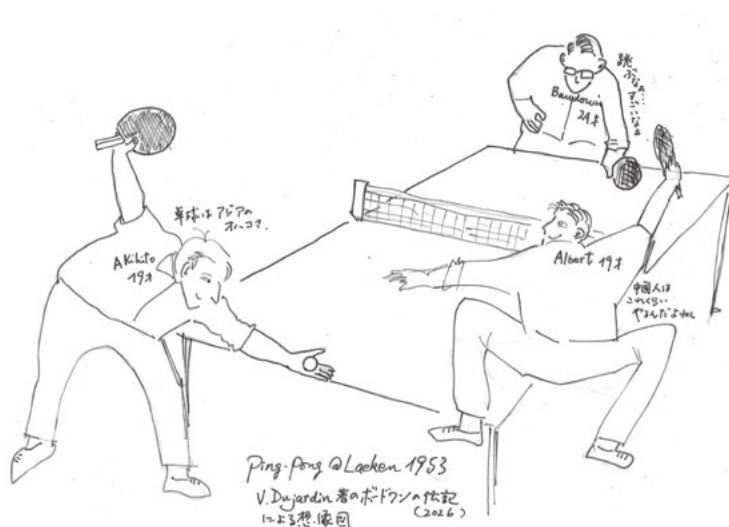
ベルギー文庫

藤野 ユミリ

初夏の6月、天皇陛下ご夫妻がオランダを経てベルギーを訪問し、フィリップ王一家のハートフルなもてなしを得て充実した滞在を楽しまれたことをきっかけに、両家の間に連なる世代を超えたひとかたならぬ篤い親交の足跡が日本の各種メディアで紹介されました。私は6月前半日本に滞在していたものだから、その外遊報道に連日見入っておりました。ワイドショーなどはまたよくしたもので、どこかの大学教授による事情通の解説を取り混ぜてとても勉強になりました。それらを総合すると、両国皇室と王室のかくも親密な関係の中核はなんと言っても上皇さまとボードワン国王の固い友情。

その始まりは上皇さまが明仁親王と呼ばれていた1953年、英国エリザベス女王の戴冠式の席で兄王ボードワン一世の名代で同じく出席していたアルベール王子と出会い、19歳同士の若きプリンスたちはすっかり意気投合し、その後ヨーロッパ周遊の途上ブリュッセルのラーケン（王家の居城）で再会を果たして一週間滞在、弟からAkihitoの評判を聞いていたボードワン王（当時24歳）が親しく加わりそこから深い友情が生まれたということです。

友情の深さの証として有名な話ですが、1993年のボードワン王の突然の訃報に、当時天皇だった明仁・美智子両陛下は、すわ！ブリュッセルへと駆けつけ、並いる国賓の中でも最敬礼の待遇を受け、その葬列の映像は今回の一連のワイドショーでもよく流れておりました。ただしこのベルギー行きには2つの困難があったとのこと。一つは、天皇は神道上の穢れを忌避するため他人の葬儀には出ないというタブーがあり、もう一つは、その夏、戦後初めて自民党一党支配が崩壊し、連立政権による組閣が急ピッチで同時進行する中、国事行為の首相任命と葬儀の日程がバッティングしてしまった！それを異例の政治的法的調整で時差込み機内泊込み3泊4日弾丸スケジュールで乗り切ったということです。つくづく並々ならぬ友情の成せる断固たる前代未聞の決行だったんだなあ、と感動するものの、当時一部メディアや憲法学者などからは問題視されたということもあったそうです。



さてそうこうして、私たちは、早朝着陸したザヴェンテム空港の向こう側に、その日日本に帰国される徳仁さま雅子さまの、真っ赤な日の丸お召し飛行機が鎮座しているのを偶然目撃！そんなすれ違いのタイミングでベルギーに戻って参りました。しばらくして、グランプラスで「まさこさまあ」と絶叫したという友人と会う機会があり、その時の動画も見せてもらったし、日本人学校には天皇ご夫妻に加えマチルド王妃も訪れたという話も聞き、ベルギーに住む日本人にとって160年友好を飾るにふさわしい祝祭の日々だったろうと想像します。

と、ここでベルギーでは天皇ご夫妻の訪問をどんなふうに報じていたのか、というのも気になるところ。さっそくチェックしてみる。中には徳仁さま個人にフォーカスして初めて海外で学んだ国際派とか水の専門家だとか皇位継承問題とかにさわっている記事もあるが、おおむね日本のマスコミ同様やはり上皇さまとボードワン王の友情にスポットを当てている。いるにはいるのだが、まあ、そのアプローチの仕方が日本には真似できない、じつにストレートでどこにも忖度がなく、非常にわかりやすいとてもヒューマンなものでした。ニュースソースを明かしつつ、私なりにお伝えしたい。

なぜ二人の間にかくも厚い友情が生まれたのか？それは「ボードワン王こそがAkihitoとMichikoを

取り結んだ愛のキューピッドだから。」(“Baudouin, le Cupidon d’Akihito”, Le Soir 6 月 24 日より)

明仁親王と正田美智子さんが出会った軽井沢の「テニスコートの恋」。しかし突然浮上した前代未聞の平民出身のお妃候補をめぐり、皇室や旧華族内外からは「あり得ない！」と反対され、マスコミや世間からはやいのやいのと囃し立てられ、事の意外に正田家は「恐れ多い」と固辞を決め、美智子さんは単身ヨーロッパ旅行へ出かけ冷却期間を持つこととした、約 2 ヶ月。その間明仁親王は国際電話をかけ手紙を書いて粘り強くプロポーズの熱意を伝え続け、結果、美智子さんの帰国後めでたく婚約が決まりました……ここまではよく知られたエピソードと言えましょう。

ではヨーロッパで実際何があったのでしょうか。そこにいたのはボードワン王。

友の一世代の恋のピンチを知った彼。ふと 1953 年のラーケン城での出会いが甦る。一人は父王の政治的混乱による退位を受けて若干 20 歳で王位を継承したばかりの不安を抱え、一人は敗戦後の新しい国の「象徴」として大きな期待と厳しい視線にさらされ、お互いに国を背負う立場ゆえの重責を夜な夜な語り合った日々……そんな無二の親友のためだもの、人肌脱いでやろうじゃないのと立ち上がった。明仁親王から美智子さん宛の手紙や交換手を介する国際電話をすべて自身ベルギー国王とのやりとりだとして、宮内庁の厳しい監視をフリーパスする策を弄したのだ。すごい！ (“Een vastberaden Akihito belt koning Boudewijn, die de onderlinge correspondentie zal doorspelen. Alle liefdesbrieven passeren via onze koning…” VRT nws 6 月 21 日)

しかもそれだけではありません。親友の父である昭和天皇に宛てて「幸福な皇太子こそが良い天皇になるでしょう」なる言葉添えも送っているのです。 (“Not only did he forward all their love letters, but he also acted as an intermediary with Akihito’s father, Emperor Hirohito. “A happy crown prince will make a better emperor”, he said. “ベルギー外務省公開資料 7 月 23 日) す、す、すごい！大胆素敵！

こうした“ブリュッセル・ロマンス brussels romance” (VRT Canvas のアーカイヴによる) のあとボードワン王もファビオラ妃と結婚し、1964 年戦後初めて国賓として招かれたヨーロッパの国王と

して来日しました。当時の香淳皇后（明仁親王の母君）が、これまで日本から出たことがない、という話を聞くやボードワン王はすぐさま皇后の手を取って「ならばわがベルギーにいらしてください」とその場で招待！ ……ところがそれまで「天皇は国を離れない」ことが慣例だったものだから急遽法律を改正するに至り、1971 年には裕仁昭和天皇ご夫妻のヨーロッパツアーが実現！！ あたかもボードワン王の一言で日本の法律が変わったかのようなトントン拍子。またまたすごい！

最後にとっておきの話を。

ボードワン & ファビオラご夫妻は、1992 年秋、韓国へ訪れる旅の途上、東京にストップオーバーとして数日立ち寄られました。当然、皇居に招かれ明仁さま & 美智子さま天皇ご夫妻と親しく旧交を温め合ったことでしょう。で、ここでまたボードワン王の面目躍如。離日前にベルギー王は親友夫婦をぜひアフタヌーンティーに在東京ベルギー大使館に招待したいということとなりました。さあ大変。天皇が一介の外国大使館にまでお茶を飲みに出かけていくなどということは前代未聞（この言葉これで 3 回目）のできごとで、でも喜んで招待に応じた天皇ご夫妻のために宮内庁ははじめなんとかしなくてはならない。当時若き外交官として大使館にいてその場に立ち会った B 氏から聞いた話が臨場感にあふれて面白いので紹介しましょう。

その日の午後、麴町から二番町にかけてのベルギー大使館界隈が全面交通止めとなりあちこち警護員が配備され頭上ではヘリコプターがたぶたぶ旋回していたなか、天皇ご夫妻の車がやってきて大使公邸にスーッと入って行き、史上初のロイヤル & インペリアル・ティタイム @ 大使館が始まった。1 時間ほどがたち、建物の外にいた B 氏ら大使館員のもとに天皇お付きの宮内庁の人が血相変えてやってきた。

「Terrible! Terrible! …なんということ！ あってはならないことが！ どうしましょう！」

やばい、何か不始末でも起きたか？ と身構える B 氏。「どうしました？」

「ティータイムの時間がもうとっくに過ぎているのに陛下ご夫妻が出てこないのですう」

ほっと胸を撫で下ろすベルギー人。「どのくらい時間超過しているんですか？」

「10 分」…

「話が弾んでいらっしゃるのでしょうかね」とにつきり微笑む B 氏に、だめだ、こいつじゃ埒が開かん、お付きの方はこの前代未聞（ダメ押し）の窮状を解決するために力を貸してくれる人を求めて走り去って行きました。

このスペシャルなアフタヌーンティーから数ヶ月後、ボードワン国王はしづかに神のもとに召されました。享年 62 歳。RIP。



UIJIN BEER 初陣

330ml, Alc 6.0%

ベルギー産酵母と手間をかけたホッピング手法により華やかでフルーティーな印象を持つビールです。大麦麦芽と小麦麦芽の絶妙なブレンドにより醸し出されたフレッシュかつ奥深い味わいをお楽しみください



UIJIN YUZU BLOND 初陣柚子ブロンド

330ml, Alc 6.5%

初陣同様にベルギー産酵母を使い、丁寧なホッピング手法で醸造された大麦麦芽100%のブロンドビールです。ホップと同時に高知県産柚子の皮の部分だけをビールに漬け込み、爽やかな苦味を引き出しています。

お買い求めは下記食品販売店でお願いします
田川（ブルガット、ストッケル、デルタ）
Asia Supermaekrt (Rixensart) FRESHMED (Etterbeek)

商品のお問い合わせ先；info@riobrewing.jp
レストラン、量販店様のご注文は
Foodex Belgium SPRL 電話 02 721 14 21 まで

告知板

このページは、会員の皆様の情報交換の場です。

- ・各種同好会の案内、募集
- ・求人／求職
- ・同窓会の案内通知
- ・譲ります／譲られたいなど、
- ・各種イベントの案内
- ・どしどしお寄せ下さい。

200 字以内にまとめて下記宛送付下さい。

e-mail: jimukyoku@nihonjinkai.be

*紙面の都合上、編集することもありますので、ご了承ください。

日本人会関係行事予定

日程	内容	場所
2026 年		
5 月 7 日 (木)	2025 年度 第 5 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
5 月 12 日 (火)	2025 年度 第 5 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
5 月 16 日 (土)	STVV 観戦イベント	大王わさびスタイエンスタジアム
5 月 17 日 (日)	2026 年度 第 2 回日本人会ゴルフコンペ	Golf Château de la Tournette
5 月 31 日 (日)	日本人会テニス春大会	Wimbledon Tennis Club
6 月 7 日 (日)	白アスパラ掘りとアスパラ尽くしランチツアー	The Santspuy wine and asparagus farm
6 月 11 日 (木)	2025 年度 第 6 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
6 月 14 日 (日)	2026 年度 第 3 回日本人会ゴルフコンペ	Golf Rigenée
6 月 19 日 (金)	2025 年度 第 6 回 理事会・2025 年度 総会	Renaissance Brussels Hotel
7 月 5 日 (日)	2026 年度 第 4 回日本人会ゴルフコンペ	Golf de Louvain-la-Neuve
9 月 3 日 (木)	2026 年度 第 1 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
9 月 8 日 (火)	2026 年度 第 1 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
9 月 27 日 (日)	2026 年度 大使杯 / 第 5 回日本人会ゴルフコンペ	未定
11 月 5 日 (木)	2026 年度 第 2 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
11 月 10 日 (火)	2026 年度 第 2 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
12 月 5 日 (土)	第 33 回日本語スピーチコンテスト	ブラッセル日本人学校 体育館
2027 年		
1 月 14 日 (木)	2026 年度 第 3 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
1 月 19 日 (火)	2026 年度 第 3 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
3 月 4 日 (木)	2026 年度 第 4 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
3 月 9 日 (火)	2026 年度 第 4 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
5 月 13 日 (木)	2026 年度 第 5 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
5 月 18 日 (火)	2026 年度 第 5 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
6 月 10 日 (木)	2026 年度 第 6 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
6 月 18 日 (金)	2026 年度 第 6 回 理事会・正会員総会	未定

●学習院の卒業生、及びゆかりのある皆様へのご連絡

コロナ禍来、活動が休止しておりましたベルックス桜友会の活動を再開致したく、ベルギー、及びルクセンブルグ在住の学習院卒、及び、関係者の皆様でお力添え頂けます方、是非下記メールアドレスにご連絡をお願い致します。

小出敦 atsushikoide0221@gmail.com

●日本語カトリック教会からのお知らせ ミサに関して

9 月 13 日 (日) 第 2 日曜日 11:30~12:30

10 月 18 日 (日) 第 3 日曜日 11:30~12:30

場所 : ブリュッセルのスクート会聖堂
(Mission de Scheut)

住所 : Chaussée de Ninove 548,
1070 Bruxelles

聖書勉強会

9 月と 10 月は未定ですので、下記にてご確認ください。

時に内容が変更される時がありますので、予め下記にてご確認ください。

☆ <https://www.facebook.com/groups/592349231569301/>

☆ nihongomisa@gmail.com

☆ 長南恵子 : 0486-775750

●日本図書館 Biblio Japon ご案内

本会は、日本書籍の貸し出しを通じて、ベルギー生活を豊かに過ごすための 会員制文化サークルです。図書館の活動場所が以下の住所に変わりました。

Japanese culture center WA

Chaussee de Wavre 1735, 1160 Bruxelles (BUS34 Auderghem shopping)

貸し出し以外にもイベント (読書会・映画会・講演会・音楽会・遠足など) を開催します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

連絡先 : 中山 bibliojapon@gmail.com

詳細はフェイスブックをご覧ください。

www.facebook.com/groups/bibliojapon

●コーラスふるさとご案内

歌好きの仲間が集まって日本の合唱曲を楽しむ混声合唱団です。

月一回第 3 土曜日午後 3 時から 5 時 まで練習します。

9 月は第 3 土曜日 19 日に行います。

場所 Japanese Culture Center WA
(BUS34 Auderghem shopping)

Chaussee de Wavre 1735 Auderghem

コーラス初心者の方も合唱の基本を学びながらコーラスを楽しみませんか。

www.facebook.com/chorusfurusato

連絡先 : 中山 hiro.nakayama.bxl@gmail.com

2026（令和8）年9月吉日

令和9年度就学児童生徒保護者各位

ブラッセル日本人学校
理事会理事長 高柳 浩史
全日制校長 杉本 和博
補習校校長 中川 健志

令和9年度就学児童生徒調査について（お願い）

晩秋の候、皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、来年度の編入学者数を把握するにあたり下記の調査をさせていただきたいと存じます。
ご多用の中恐縮に存じますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

記

- 1 調査方法（全日制と補習校で方法が異なりますのでご注意ください。）
全日制：【別紙】就学児童生徒調査用紙（以下本調査用紙）に必要事項をご記入ください。
補習校：下記 Google フォームに必要事項をご記入ください。
<https://forms.gle/bpFloaxMAjC1NRcx5>
※全日制と補習校の両校で入学・編入をご検討中の方は、全日制的就学児童生徒調査用紙のみご提出ください。
- 2 対象者
共通：2027年度にご入学・ご編入される予定の児童（新小学1年生～新中学3年生）
- 3 回収方法（全日制と補習校で方法が異なりますのでご注意ください。）
全日制：本調査用紙に児童生徒1人ずつ記入・添付し、下記メール宛に送信してください。
nyugaku@japanese-school-brussels.be
メールでのご対応が難しい場合は、直接日本人学校事務室へご提出ください。
補習校：Google フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
- 4 回収期限
共通：令和8年10月30日（金）までの集約にご協力ください。
- 5 その他
共通：回答をいただいた令和9年度新小学1年生の保護者様には、2月に開催する入学説明会（全日制2月5日・補習校2月13日）のご案内を、1月中旬に記載されたメールアドレスへお送りします。入学説明会の案内が届かない場合はお知らせください。
全日制：新小学2年生以上の保護者様には4月に開催する編入学説明会のご案内を3月にお送りします。
共通：本調査用紙記載の内容は、個人情報として厳重に管理し、次年度の準備や連絡等以外の目的では使用いたしません。
共通：入学に際しては別途入学願書の提出が必要です。
共通：日本人学校の編入学案内については、下記アドレスをご参照ください。
<http://www.japanese-school-brussels.be/>

担当：事務室職員
所在地: The Japanese School of Brussels a.s.b.l.
Av. des Meuniers, 133 - 1160 Brussels
TEL：+32(0)2 672-1038
E-mail: nyugaku@japanese-school-brussels.be

就学児童生徒調査用紙

令和9年（2027年）度全日制就学予定児童生徒

児童・生徒 氏名	ふりがな		性別 <u>男</u> ・ <u>女</u>
	ローマ字		
生年月日	平成・令和 ____年 ____月 ____日（西暦 ____年）		
保護者氏名	ふりがな	ふりがな	
	父	母	
	ローマ字	ローマ字	
メールアドレス	※こちらに記載いただいたメールアドレス①にご連絡致します。 ① _____ ② _____		
勤務先名	父	母	
勤務先電話番号			
緊急時電話番号			
自宅住所(ベルギー国内) _____			
※該当する箇所に、必ず○印をしてください。 () 全日制に入学する () スクールバスを利用する（<u>往路のみ・復路のみ・往復とも</u>） () スクールバスを利用しない () <u>全日制もしくは補習校</u> に入学を検討中 ※検討の結果、（ ____月）までに決定の予定			
ブラッセル日本人学校全日制・補習校に、本人または兄弟姉妹が在籍している（していた）ことがある (はい・いいえ) ※必ず○印をしてください			
日本人学校全日制・補習校での在籍予定期間 西暦 ____年 ____月～西暦 ____年 ____月まで（ ____年 ____か月）			
<特別な配慮や支援について> ※該当する箇所に、必ず○印をしてください。 ・今までに特別な支援や配慮を受けていた： <u>はい・いいえ</u> ・「はい」と答えた方は、どのような支援や配慮をいつまで受けられていたのか具体的にお書きください。 (_____) ・現在、授業を自立して受けることができ、一人で移動や準備ができる： <u>はい・心配がある</u> ・生活や学習における個別支援： <u>必要・不要</u>			
<備考：学校に伝えておきたいことがありましたらご記入ください。>			

【会報アンケートのお願い】

より良い会報づくりのため、読者アンケートを実施中です。

QR コードまたは以下のリンクから、簡単にご回答いただけます。

読者アンケート：<https://forms.cloud.microsoft/e/jBHapcvjm5>

所要時間は約 3 分。皆さまのご意見をお待ちしております！

ご協力おねがいいたします！

会報9月号（429号）読者アンケート



編集後記

2026 年もあっという間に後半に入りました。私事ですが、職場では広報文化を担当させていただいており、2023 年末に着任後すぐに日ベルギー友好 160 周年の話を持ち上がり、広報文化を本格的に担当するのは初めてで何をすれば良いかも分からないまま、150 周年のときのことを毎日勉強しつつ、館内、ベルギー日本人会や日白協会兼商工会議所の皆さまとも相談させていただきながらあれやこれやと様々な行事が決まり、多くの企業の皆さま、在留邦人の皆さま、ベルギーの文化施設や芸術家の方々との交流や御協力を賜り、一つ一つ形になっていきますことをとても嬉しく思っております。

この夏はベルギーで最後の夏になるだろうと思い、最近はヨーロッパの電車旅を楽しんでいます。学生時代にフランス語を専攻し、フランスにも留学しましたが、パリ以外の街にも意外とベルギーから電車で行ける距離だと思い、リールやリヨン、アヌシーの町並みを楽しみました。ベルギーから行くと、フランスという国の大きさ、地方それぞれが有する文化の多様さを改めて感じるものになりますが、ベルギーに戻ると人々の温かさや多様性、コンパクトな町並みにほっとするものがあります。

残りのベルギーでの生活も、貴重なご縁を大切にさせていただき、有意義に過ごせることができればと思います。

(月担：藤井)

広告を募集しております。

掲載ご希望の方は前もって、日本人会事務局へご連絡の上、以下の枠内に編集した PDF ファイル（カラー、リンク可）を日本人会事務局（jimukyoku@nihonjinkai.be）へご送付下さい。

Size	Member Price	Non-Member Price
1/4 Page（縦 60 × 横 198 mm）	60 €	170 €
Full Page (A4)（縦 297 x 横 210 mm）	200 €	450 €

原稿締切は原則会報発行月の前月 1 日です。詳細は日本人会事務局までお問い合わせ下さい。掲載広告については、当会が内容を保証するものではありません。情報の詳細等は、各掲載主へ直接お問い合わせください。掲載広告のご利用における、事故・トラブルに関して、弊会では一切の責任を負いかねます。

広報委員会

会員限定コンテンツ

※ベルギー日本人会にご入会いただければ、会員限定コンテンツもご覧いただけます。

入会のご案内

当会に入会ご希望の場合は、その旨、メールにてご連絡ください。

jimukyoku@nihonjinkai.be

折り返し入会手続きと入会申込書をお送り致します。理事会での審査・承認のため、お申し込み
いただいてから、1～2週間程要しますので予めご了承ください。

＜会員の種類＞（ベルギー日本人会規約 第5条）

1. 正会員：ベルギー所在の日系企業及び団体、日本法人の支店、事務所及び子会社、及びそれら
に準ずると認められる企業・団体。
 - ・日本人会の商工委員会に所属し、日本人会の行事に参加頂けます。また、総会での議決権を有し
ます。会報（隔月発行）をお届けします。
2. 賛助会員：本会の目的を支持し、恩恵を受けることを望む個人もしくは法人。
 - ・日本人会の行事に参加出来ますが、総会はオブザーバーとなります。
 - ・会報（隔月）発行のお知らせとパスワードをお届けします。

賛助会員は以下となります。

- 1) 普通会员：正会員に所属するもので正会員により届出られた方。
- 2) 個人会員：ベルギー在住の個人。
- 3) 特別会員：正会員以外の法人もしくは個人
- 4) 名誉会員：在ベルギー日本国大使館、欧州連合日本政府代表部、ブラッセル日本人学校及びそ
の届け出するメンバー、及び理事会により特に名誉会員と認定された方。

ご不明な点がございましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。